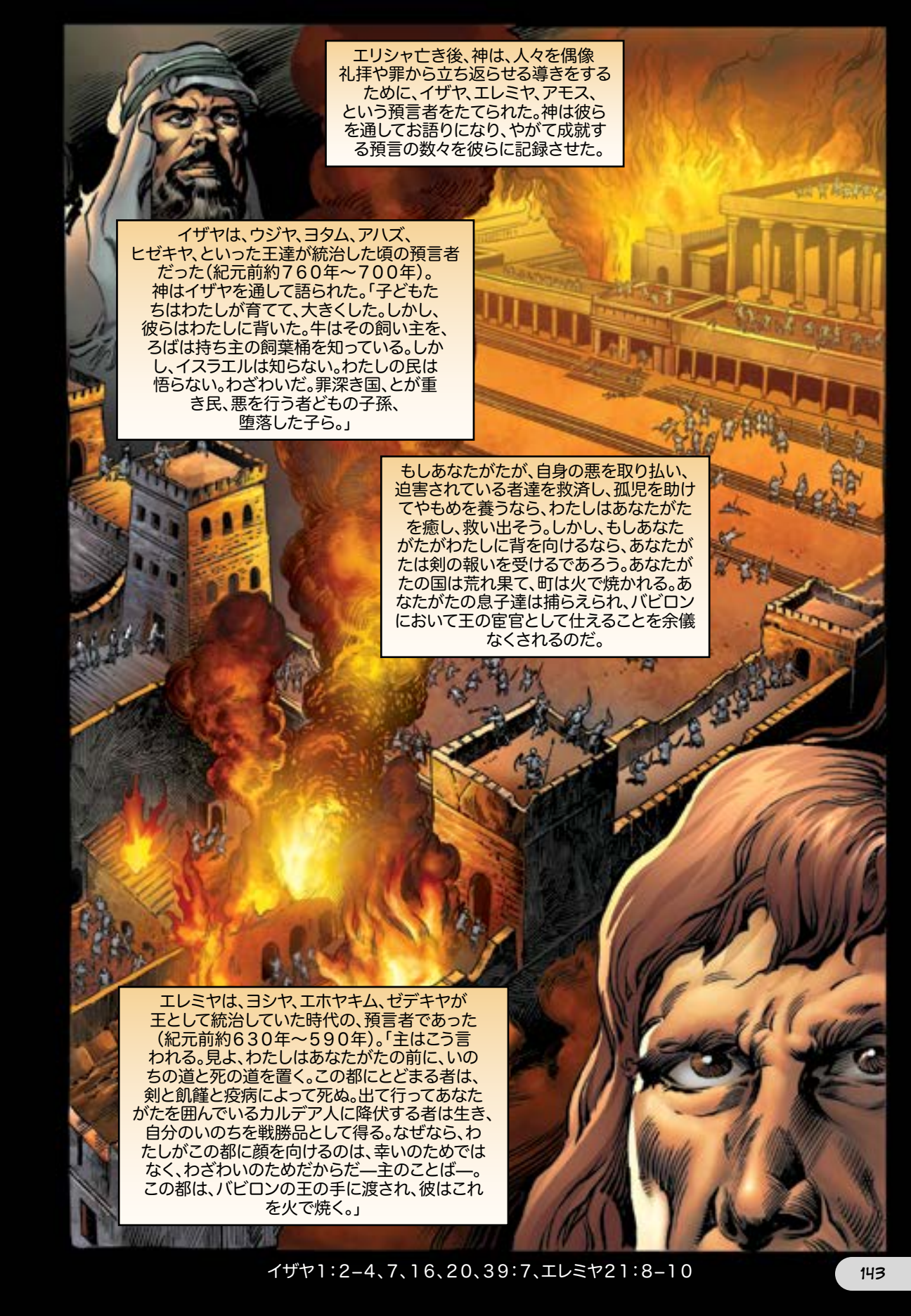




第7章

キリストに
関する預言




エリシャ亡き後、神は、人々を偶像
礼拝や罪から立ち返らせる導きをする
ために、イザヤ、エレミヤ、アモス、
という預言者をたてられた。神は彼ら
を通してお語りになり、やがて成就す
る預言の数々を彼らに記録させた。

イザヤは、ウジヤ、ヨタム、アハズ、
ヒゼキヤ、といった王達が統治した頃の預言者
だった(紀元前約760年~700年)。
神はイザヤを通して語られた。「子どもた
ちはわたしが育てて、大きくした。しかし、
彼らはわたしに背いた。牛はその飼い主を、
ろばは持ち主の飼葉桶を知っている。しか
し、イスラエルは知らない。わたしの民は
悟らない。わざわいた。罪深き国、とが重
き民、悪を行う者どもの子孫、
墮落した子ら。」

もしあなたがたが、自身の悪を取り払い、
迫害されている者達を救済し、孤児を助け
てやもめを養うなら、わたしはあなたがた
を癒し、救い出そう。しかし、もしあなた
がたがわたしに背を向けるなら、あなたが
たは剣の報いを受けるであろう。あなたが
たの国は荒れ果て、町は火で焼かれる。あ
なたがたの息子達は捕らえられ、バビロン
において王の宦官として仕えることを余儀
なくされるのだ。

エレミヤは、ヨシヤ、エホヤキム、ゼデキヤが
王として統治していた時代の、預言者であった
(紀元前約630年~590年)。「主はこう言
われる。見よ、わたしはあなたがたの前に、いの
ちの道と死の道を置く。この都にとどまる者は、
剣と飢饉と疫病によって死ぬ。出て行ってあなた
がたを囲んでいるカルデア人に降伏する者は生き、
自分のいのちを戦勝品として得る。なぜなら、わ
たしがこの都に顔を向けるのは、幸いのためでは
なく、わざわいのためだからだ—主のことば—。
この都は、バビロンの王の手に渡され、彼はこれ
を火で焼く。」



神は、エレミヤを通して仰せられた。
「わたし自身が、伸ばされた手と力強い
腕をもって、怒り、憤り、大いなる激怒をもって、あな
たがたと戦う。この都に

住むものは、人も家畜もわたしは打つ。
彼らは激しい疫病で死ぬ。その後で一主
のことは—わたしはユダの王ゼデキヤと
その家来、また、その民と、この都で疫
病や剣やきざんから逃れて生き残った者
たちを、バビロンの王ネブカドネツアル
の手、敵の手、いのちを狙う者たちの手
に渡す。彼は彼らを剣の刃で討ち、彼ら
を惜しまず容赦せず、あわれみをかけな
い。」

この都はバビロンの王の手に渡され、
火で焼き払われる
彼は彼らを囚人としてバビロンに連れ去
り、また剣にかけて殺す
バビロンに行って死に、そこで
葬られる。



アモスは、ウジヤとヤロブアム二世が統治していた頃の預言者である(紀元前約765年~750年)。神はアモスに仰せられた。「あなたがたの女達は、自分の主人に水を飲ませてくれとせがむ牛のようだ。あなたがたは、もうこれ以上夫を牛耳ることはできない。あなたがたは捕らえられ、バビロンの地において奴隷となる。」

あなたがたは、高価な寝台に横たわり、脂肪のしたたる高級食材を堪能し、多量のワインを飲みながら音楽に酔いしれている。そして、正義をないがしろにし、貧しい者を踏みじり、さらには賄賂を受け取って、恵まれない者達を押し除けている。それゆえ、あなたがたがぶどう畑を作っても、その実からできるワインは敵のものとなる。あなたがたの軍隊は破壊され、人々は皆、よその国の奴隷として連れ去られるであろう。



神は仰せられた。「わたしはベテルの祭壇を打ち壊し、冬の家も夏の家も破壊する。あなたがたは、貧しい者を虐げ、賄賂を受け取り、助けを必要としている者を破滅させてきた。わたしは雨を降らせず、飢饉と疫病をもたらしたが、あなたがたはそれでも悔い改めなかった。あなたがたはぶどう畑を作ったが、ワインを飲むことはもはやできないのである。」

お母さん、お腹すいた。

紀元前753年

ホセアは、ウジヤ、ヒゼキヤ、ヨタム、アハズが王として統治していた頃の預言者である(紀元前約785年~725年)。彼はこう預言した。「彼らは剣に倒され、幼子たちは八つ裂きにされ、妊婦たちは切り裂かれる。」

「わたしは彼らの背信を癒し、喜びをもって彼らを愛する。わたしの怒りが彼らから離れ去ったからだ。わたしはイスラエルにとって露のようになる。彼はゆりのように咲き、レバノン杉のように根を張る。」

しかしバビロンの後、民は四方に散らされ、そこで迫害されるであろう。土地や財産も奪われ、心休まる場所を見つけることができなくなる。

何もかも奪われてしまったわ。なぜ私達がこんな目に？

これは、いい値で売れるぞ。金をもたらしてくれるユダヤ人を行かせるのは、まことに惜しい。


お母さん、これからどこに住むの？

ユダヤ人はすべて、三日の内に国外退去だと？


この書類によると、ユダヤ人は全て国外追放され財産も残して行くらしい。

この牛ずっと欲しかったんだ。

神のことばを拒んだイスラエルの民は、それゆえ、国々へ散らされていった。父祖の地へと神が彼らを連れ戻されるまで、彼らが安らぎを得ることはなかった。




「この地はすべて廃墟となり荒れ果てて、これらの国々はバビロンの王に七十年仕える。七十年の終わりに、わたしはバビロンの王とその民を一主のことは—またカルデア人の地を、彼らの咎のゆえに罰し、これを永遠に荒れ果てた地とする。」




それゆえ、シオンは、あなたがたのために、畑のように耕され、エルサレムは廃墟となり、この宮の山は森の丘となる。

この預言は成就した。敵の手によってエルサレムは荒廃した。しかし、終わりの時に、神殿は再建され、人々は集められる。

紀元前750年から686年頃に生きた予言者ミカは、こう予言している。




多くの異邦の民が来て言う。「さあ、主の山、ヤコブの神の家に上ろう。主はご自分の道を、私たちに教えてください。私たちはその道を歩もう。」それは、シオンからみおしえが出、エルサレムから主のことが出るからだ。



主は多くの国々の民の間をさばき、遠く離れた強い国々に、判決を下す。彼らはその剣を鋤に、その槍をかまに打ち直し、国は国に向かって剣を上げず、二度と戦いのことを習わない。彼らはみな、おのおの自分のぶどうの木の下や、いちじくの木の下にすわり、彼らを脅かす者はいない。まことに、万軍の主の御口が告げられる。

まことに、すべての国々の民は、おのおの自分の神の名によって歩む。しかし、私たちは、世々限りなく、私たちの神、主の御名によって歩もう。その日、一主の御告げ。—わたしは足のなえた者を集め、追いやられた者、また、わたしが苦しめた者を寄せ集める。わたしは足のなえを、残りの者とし、遠くへ移された者を、強い国民とする。主はシオンの山で、今よりとこしえまで、彼らの王となる。



エレミヤは預言した。

ゼデキヤ王は、主の御前に悪を行ったが、命を落とすことはない。彼はバビロンへ捕われ、自身の民と共に住む。だが、彼はバビロンを見ることができない。彼の視力は奪われる。彼はバビロンにおいて70年の間、捕われの身となるのだ。

70年の終わりが近づいた頃、バビロンは北方からの敵に征服され、イスラエルの残存者達は、町と神殿の再建の為に戻ってくるであろう。


裁きの後、神は彼らの罪を赦し、エルサレムの至る所に多くの民を住まわせる。

バビロンに行く時、この巻物を携えていき、民に読んで聞かせなさい。この地に再び戻る日まで、彼らは耐え忍ばなければならないのだ。

わたしはダビデの王座を再建し、あなたがたは、その地を所有するようになる。

エゼキエルは預言した。「イスラエルの民は多くの国々に散らされるが、神はやがて、彼らをこの地に連れ戻される。」

「神は、アブラハムにかつて約束された。彼の子孫がこの地を永遠に受け継いでいくことを。神は約束を守るおかたである。しかし、民が罪に深く陥るのなら、神は彼らを国々に散らされ、見知らぬ神々に仕えることをあえてお赦しになるのだ。だが、終わりの時に、神は彼らを再び連れ戻されるであろう。」




エジプトもまた、バビロンを通して裁きを受ける。そして40年の間、荒廃が続く。彼らがバビロンの地から戻ってこようとも、エジプトのかつての栄華は失われている。しかし終わりの時まで残るだろう。その後、エジプトとアッシリヤは、我が民イスラエルと平和を結び、私は彼らを祝福する。

ペリシテ人は破壊され、いなくなる。アシュドデ、エクロン、そしてアンモンも同様に、またエドムも荒れ果てる。ツロも崩壊し、全ての石材や木材も海に投げ捨てられる。町が再建されることもなく、その地は岩肌ようになり、ただ漁師が網を広げるだけの場所となるのだ。

しかし、ペルシャ(イラン)、トルコ、エチオピア、リビアは終わりの時まで存続する。彼らはイスラエルへの侵略を試みるが、彼らは山々で命を落とす。


聖書には多くの預言が記されているが、それらは常に成就している。荒廃するであろう、と言われた国家はその預言通りに消滅し、終わりの時まで存続する、と言われた国家は、今日私達が目に見ているのだ。



紀元前605年、イスラエルはバビロンに征服された。まさに預言の通りである。


5000人を超えるユダヤ人たちが捕虜としてバビロンへ連行された。若くて有能な者を選抜し、王国に仕えさせるために。その中に、ダニエルという男がいた。彼は、アブラハムの神に仕え、その掟を忠実に守っていた。

ああ神様、私達は父祖の罪の故に罰を受けています。見知らぬ土地においても、あなたの教えに従うことが出来ますように。どうか助けてください。



ダニエルは捕虜として異国に連れて来られたが、彼は神に対して忠実でいようと心に誓っていた。彼を捕らえた者は、ダニエルが素晴らしい気質を持っているのに注目して、彼をバビロンの賢者の一員として特別な地位に置いた。

天と地、そして全宇宙の全知全能なる主よ、大地の恵みを与えてくださり感謝いたします。



バビロンのネブカドネツアル王は、不思議な夢に起こされた。

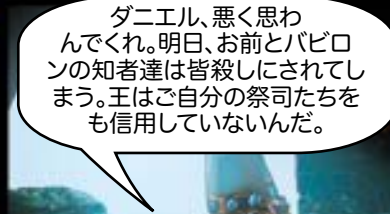
なんという夢なのだ。このような夢を見るとは、神々が未来をお示しになられたに違いない。

お前達には知恵がある。神がお前達に何かを語るというのなら、この私が見た夢が何であるか、そして、その夢が意味することは何か答えよ。

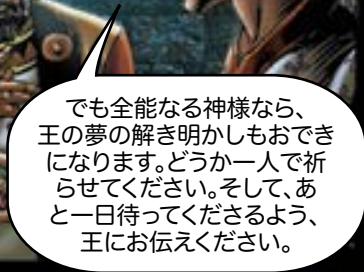
しかし、王がどのような夢をご覧になられたか、私共には分かりません。ゆえに、その夢の意味を答えると申されましても、神々以外に誰が答えられましょう？



ペテン師どもめが！
神々がお前達に語るんじゃない
なかったのか！おまえたちの
家族もろとも処罰してくれ
よう。おまえたちの家はゴ
ミ溜めとなるのだ！



ダニエル、悪く思わ
んでくれ。明日、お前とバビロ
ンの知者達は皆殺しにされてし
まう。王はご自分の祭司たちを
も信用していないんだ。



でも全能なる神様なら、
王の夢の解き明かしもおでき
になります。どうか一人で祈
らせてください。そして、あ
と一日待ってくださるよう、
王にお伝えください。



主よ、あなたこ
そ神であられ、全宇
宙をご支配しておら
れます。どうか、あ
なたのしもべにお示
し下さい。あなた以
外に神は存在い
たしません。

ダニエルよ、
聞きなさい。



早く！私を
王の元へ！


王の夢を話すこと
も解き明かすこともでき
なければ、王はあなたを、
その場で処刑される
のですよ。



王の王であ
られる王様。天の
神があなたに現在
の地位をお与えにな
られました。そして、
その神であられるおか
たが、これから起ころ
うとしていることをあ
なたに知らせるため
に幻をお示しにな
られたのです。


早く先を続ける！
夢を解明出来るのか、
出来ぬのか！

全宇宙の創造
主なる真実の神が、
あなたのしもべにあな
たの夢の解き明かし
を示されました。




王様。あなたは一つの大きな像をご覧になりました。大きな像はあなたの王国と、その後続く三つの国を示しています。

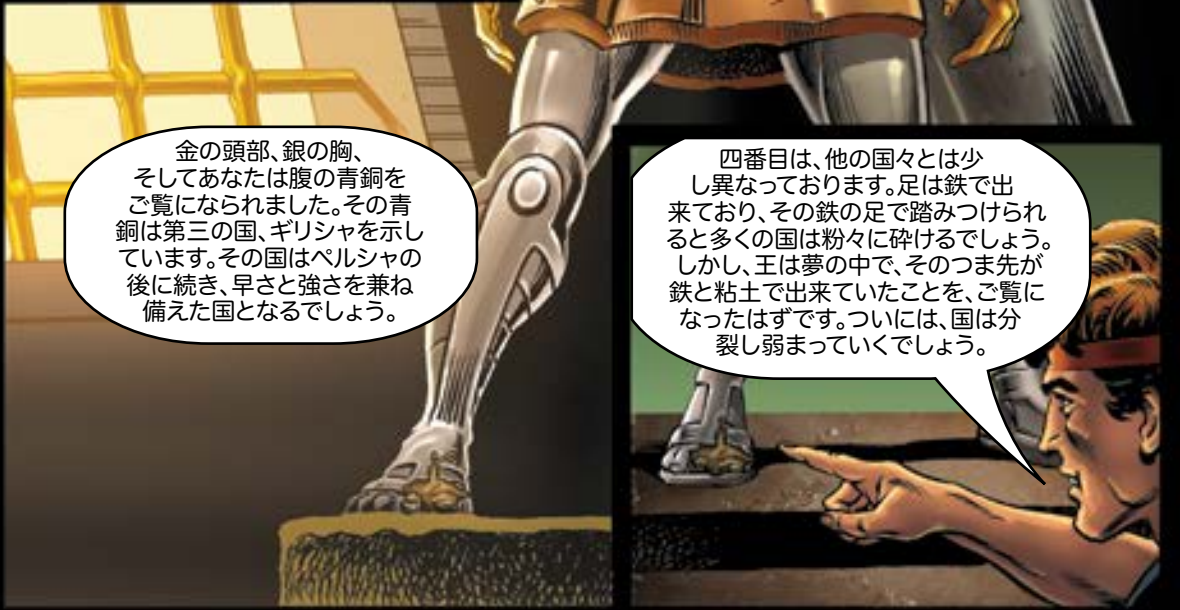
そうだ! その通りだ! 私は誰にも話しておらぬのに、お前の神は真実の神に違いない。



あなたはその像の金の頭の部分です。あなたがユダを征服する前、我が国の預言者たちは、神が、私達をその罪の故に罰せられる、と語りました。そしてまさに、神は私達をあなたの手に明け渡されたのです。あなたの王国は堅固なものとなるでしょう。




胸の部分の銀は別の国、メディアとペルシヤを示しています。あなたの亡き後、彼らがバビロンを征服し、あなたがそうしたように彼らが世を統治するでしょう。




金の頭部、銀の胸、そしてあなたは腹の青銅をご覧になられました。その青銅は第三の国、ギリシヤを示しています。その国はペルシヤの後に続き、早さと強さを兼ね備えた国となるでしょう。

四番目は、他の国々とは少し異なっております。足は鉄で出来ており、その鉄の足で踏みつけられると多くの国は粉々に碎けるでしょう。しかし、王は夢の中で、そのつま先が鉄と粘土で出来ていたことを、ご覧になったはずで。ついには、国は分裂し弱まっていくでしょう。




そして、王よ、あなたは山から石が切り出されたのをご覧になられたはずですが。しかし、その石は人の手によって切り出されたのではなく、山から転がり落ちてきて、その像の足にぶつかり一瞬の内に、それぞれの国を表わす像が砕かれましたね？




その石は、神の御子を示しています。御子は、栄光に満ちた神の王国を建て上げるために来られるのです。

終わりのとき、死んだ者も目覚め、全ての人が裁きを受けます。悪の人々は永遠に恥とそしりを受ける場所へ移され、善の人々は永遠の命を受け取るのです。




そなたの話したことは、まちがいをなく神の言葉だ。そうでなければ、どのようにして私の夢を細かく解き明かすことができようか。私はあなたを、知者たちをつかさどる長官としよう。

ダニエルは、68年間バビロンにとどまって生きた。彼は、多くの夢を解き明かし、この先起こりえる事柄を世に伝えた。時が経ち、ネブカドネツアル王が亡くなると、息子のベルシャツアルが王位を引き継いだ。



ある夜、ベルシャツアル王は大宴会を催した。すると突然、人間の手の指が現れ、王の宮殿の壁に何かを書き記した。ダニエルが呼ばれて、その解き明かしを求められた。神は、この見知らぬ言葉の意味をダニエルに示された。

王様、あなたは神に対して罪を犯しました。よって、今夜、あなたの王国はメディヤとベルシャの手に渡ります。



かつての預言では、町に入り込む水門から敵が侵入し、バビロンは征服される、と言われていた。バビロンの人々は泥酔していて侵略に気がつかない。歴史書に記されているバビロン崩壊の経緯にも、同じような記述がなされている。

メディヤとベルシャがバビロンを征服した後、ダニエルは、聖書の箇所にもなっている。預言者エレミヤが記した古い書物を発見した。その書物を読み進める中で、バビロンに服従するのは70年だけである、という預言があらかじめ記されたことに気がつき、愕然とした。



その後、散らされていた者達がエルサレムに戻り、城壁と神殿を再建する、とも記されていた。さらに読み進めると、200年前に預言者イザヤが、彼らにエルサレムへ戻るよう命令を下す、ベルシャ王の名前も預言していたことを知った。

もう69年が過ぎた。あと残すは1年だ。書物によると、神のみこころを行うしもべとして、キュロス王が用いられるようだ。彼は、私達に故郷へ帰るよう、命じられるのだ！全宇宙をつかさどる主なる神よ、あなたの御名がほめたたえられますように。

バビロンがユダヤ人を拘束してから70年後、預言の書に書いてあった通りに、5万2千人のユダヤ人はキュロス王の命により町を再建する為に故郷へと戻された。

かつてアブラハムに約束されたように、神は我々にこの地をお与え下さった。神は、我々がもし他の偽りの神を拝むなら、我らを敵の手に渡す、と警告された。しかし同時に、我らのことを決して忘れない、とお約束になった。神は約束をお守りになるおかた。故郷に帰った今、神に従おうではないか。

きちんと計画を立てて進めよう。まず城壁を再建して、そして神殿にとりかかるのだ。

アブラハムの主なる神様、あなたは約束通りに私達を連れ戻してくださいました。あなたのみこころの道を歩むことが出来ますように。助けてください。

水を運んできたぞ。さあ、仕事に取り掛かるうじゃないか。

ダニエルは非常に年老いていたため、他の者達のようにエルサレムへ帰ることはしなかった。バビロンの都市部にある、メディアとペルシャの中で、彼は王の相談役として重要な任務についていたのである。神は、もういくつかの預言、すなわち終わりの時についての揭示を、彼にお示しになった。示された夢の中で、ダニエルは青銅のようなものでできた大きな獣の存在を目にした。そして天使が現れ、その解き明かしをした。



神は、終わりの時についてお示し下さっています。ネブカドネツァル王に神が示されたように、やがて4つの王国が建てられます。今はまだ2国のみですが、メディアとペルシャの後、早急にギリシャが建てられますが、すみやかに終わりを迎え、4つの国に分裂するのです。彼らは互いに戦い、それは2国になるまで続けられるでしょう。彼らはくりかえし戦争をし、やがて第4の国に征服されます。この獣は、第4国を象徴しているのです。

第4の国は、他の国より力があり強靱で、すべてを征服するが、終わりの時には10の国に分裂します。そして、ひとりの人が現れ、平和を唱えるでしょう。彼は、獣の頭部に生えてくる最後の角として例えられています。終わりの時に、彼はもっともらしいことを豪語し、平和を約束しますが、彼の目的は破壊と征服です。彼は、ユダヤ人の神殿の聖所を冒瀆し、汚します。聖なるほふりの捧げものを出来ないようにするためです。そして、地上に大かん難が訪れます。しかし、義なる人は救われます。

ダニエル、神様は、この先いつ何が起こるのかあなたに知ってほしい、とお思います。神殿を建て直せ、との命令がくだされてから、483年後に、人々の罪のあがないとして救い主が命を捧げます。そしてその後、神殿は再び破壊されるでしょう。

この預言は必ず成就し、救い主は聖別されます。この時、罪が赦され、和解がもたらされます。そして、人は永遠の義へと招かれるのです。

ダニエルが記した通り、救い主は、ちょうど483年後のその日に、目的を持ってエルサレムに勝利の入城をはたされました。



神は、かつてアダムとエバにこう仰せられた。女の子孫が、やがて悪に打ち勝つ、と。また、神はかつてノアにこう言われた。救い主は、ヤフェテやハムではなく、セムの家系から生まれる、と。また神はかつてアブラハムにこうお語りになられた。彼の息子、イサクを通して、その子孫から救い主が生まれ、と。また神はイサクにこうお話しになられた。息子であるヤコブの家系から約束の御子がお生まれになる、と。また神はヤコブにこうお伝えになられた。キリストはユダの家系から生まれる、と。

約束されたあがないの主に関する多くの預言が、神から預言者達に与えられた。彼らは皆、救い主のご臨在は永遠に続く、と語っている。主は、ユダのベツレヘムにおいて処女から生まれ、へりくだり、高慢にならず、ロバに乗っている。主には神の霊が宿っており、異邦人達にとっての光となるであろう。そして、地上に住む全ての人たちに救いをもたらすのだ。主は苦難の人であられ、人から裏切られ、拒絶され、手足に釘を打たれて命を落とされる。服もともに着ていない状態で十字架にかけられ、喉が渇いても酸い葡萄酒を飲まされるのみである。盗人とともに十字架にかけられ、金持ちの所有する墓に葬られる。

4つの国に関するダニエルの預言は全て正確に成就した。

紀元前330年、ギリシャのアレクサンドロス大王は、7年にも及ぶ戦闘を開始し、その戦いによってメディア、ペルシャを含む国々を征服した。ギリシャは、紀元前約167年頃までその勢力を発揮していたが、第4の国、ローマ帝国によって征服されていった。

ローマ帝国は、ネブカドネツアル王の夢で、鉄の足に例えられていた。また、ダニエルの預言では、青銅のような獣として例えられ、預言の通り、その勢力を強めていった。そして紀元前5年頃には、鉄の手をもってイスラエルを統治した。